



村民憲章

1. 私たちは 歴史と伝統を大切にしましょう
1. 私たちは 美しい自然を守りましょう
1. 私たちは 郷土の文化を高めましょう
1. 私たちは 豊かな人情を育てましょう
1. 私たちは 仕事に誇りを持って働きましょう

November. 2013

No. 626

11

十津川

むらづくりのキャッチフレーズ「心身再生の郷」

村報とつかわ

【特集】国道168号「いのちの道」

- 復興モデル住宅
- 村の宝
- カメラスケッチ
- 教育だより
- 情報広場
- 議会だより
- 国民年金
- 国保だより
- 人権
- 人の動き



日本一大きい半島「紀伊半島」。
 その背骨となる
 地域高規格道路「五條新宮道路」。

**村民の
 「いのちの道」**

今月号の特集は、その「いのちの道」の
 現状、課題、展望について考えます。

未整備区間の問題

約130㌔ある五條新宮道路のうち、すでに完成している道路は18㌔。未整備区間ではさまざまな問題が発生しています。

突然の土砂崩れ

大きな落石

S字カーブや狭い幅員

頻発する雨量規制通行止

◆「いのちの道」とは？

国道168号は、和歌山県新宮市を起点として、本村を経て大阪府枚方市に至る主要幹線道路です。平成6年度に、地域間の交流促進を図る道路として、五條市から和歌山県新宮市までが、地域高規格道路「五條新宮道路」として指定されました。



「十津川道路」開通感謝の集い



10月6日、十津川村住民ホールで「十津川道路開通感謝の集い」が行われました。

紀伊半島全体の道路整備から見えてくる「いのちの道」の役割。パネルディスカッションでは、その重要性が話し合われました。(下に記に抜粋した内容を掲載します)



国土交通省
近畿地方整備局
伊勢田道路部長

【司会】168号をこれから良い道路としていくためにはどうしたらよいか。まず、国は紀伊半島の道路整備をどう考えているのかお伺いします。

【伊勢田道路部長】紀伊半島は、日本一大きい半島です。まず、現在進めている高速道路整備の全体的な話をします。京都、奈良、和歌山を結ぶ高速道路の京奈和自動車道は、大和郡山から五條を通り、和歌山へ繋いできています。和歌山県内は2年後にすべて繋がり、奈良県内も順次、五條から郡山まで繋がる予定です。

一方、紀伊半島の海岸沿いを通る高速道路「紀勢線」は、三重県内で、今年度中に名古屋から熊野までほぼ高速道路が繋がります。和歌山県内は、田辺―すさみ



奈良県
県土マネジメント部
大庭部長

間が27年度の開通を目指して建設中です。未整備の熊野―新宮間、すさみ―新宮手前間についても今後、建設を進める予定です。

五條―新宮間は、地域高規格道路として奈良県と国土交通省で力を合わせて整備を進めています。京奈和自動車道、紀勢線と合わせた紀伊半島を一周する道路で、紀伊半島の安全で快適な自動車交通の確保を考えています。

また、南海トラフ地震に備え、道路整備を進めなければなりません。和歌山県内では最大20mの大津波が押し寄せ、沿岸部を通る国道42号線が大きな被害を受けると推測されます。五條新宮道路が整備されることで、内陸からの支援が可能になり、大きな役割を果たすと考えています。



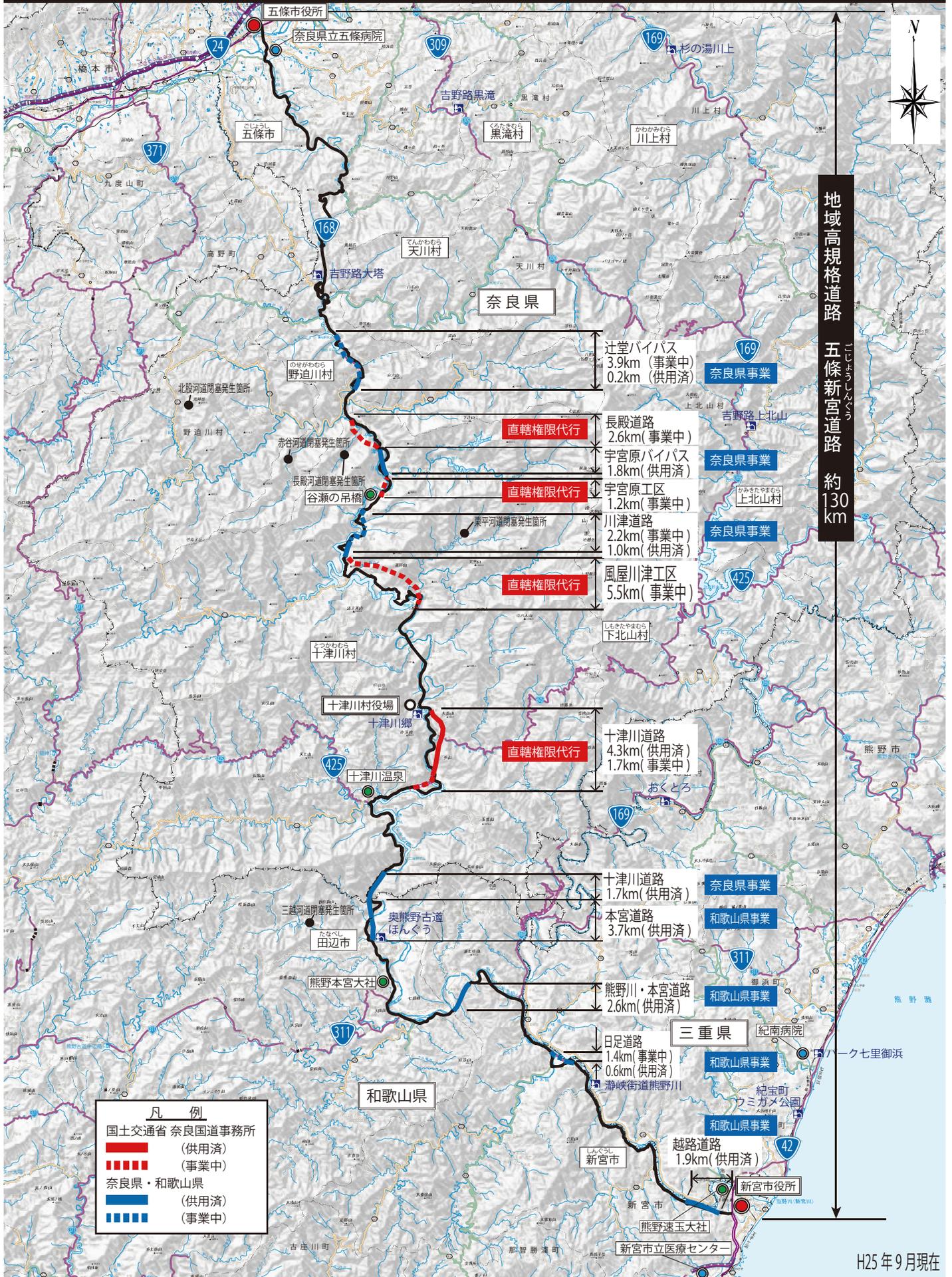
司会を務めた
奈良テレビ
伊藤アナウンサー

【司会】こうやって紀伊半島全体の道路整備、災害対応を考えると、奈良県南部の道路整備がどうあるかで、紀伊半島全体の利益が大きく変わってくると思います。奈良県では道路整備をどのように進めていますか。

【大庭部長】全国と比べて、奈良県の道路整備率は45位、高速道路の整備延長は最下位です。安全・安心、県内の経済を強くしていくためには道路整備はまだまだ必要です。

現在、奈良・和歌山・三重の3県の知事が、紀伊半島アンカールート整備を進めています。県としては、紀伊半島大水害からの復旧・復興期間内(おおむね10年間)に、すれ違いが困難な区間の解消を目指しています。

国と県が総力を挙げて「五條新宮道路」の改良事業を全面展開



H25年9月現在

続く「いのちの道」の整備促進要望



10月1日、奈良県に要望



10月8日、国土交通省中原政務官に要望

10月上旬、国道168号(五條・新宮間)整備促進協議会など3つの協議会が、国や県に対し来年度道路事業に必要な予算の総額確保と、国道168号の整備促進を要望しました。

国道168号は現在、各所で改良工事が行われていますが、難所

が多く飛躍的な進捗が見られません。また、五條市大塔町阪本地内など、すれ違い走行の困難な箇所が残されているなど、紀伊半島アンカールートの早期整備に向けた重点的な予算の配当が必要となっています。

土河屋トンネル内にあるひび割れ



国道168号土河屋トンネルはどうなっているの？

トンネル内のコンクリートに発生したひび割れが原因で、昨年の7月から通行止めが続いている、国道168号の土河屋トンネル(田辺市本宮町)。現在は、和歌山県が学識経験者の意見を聞きながら調査を行っています。

今年9月の台風18号では、本宮町内で444ミリの雨量を観測しましたが、トンネル内に顕著な変異は見られませんでした。ひび割れの原因が特定できないため、復旧工法や復旧時期が未定となっています。国道168号整備促進協議会は、早期復旧が図られるよう国や県に対し要望を続けています。

復興モデル住宅が地域住宅計画賞に

このたび、村の「復興モデル住宅」の取り組みが、第8回地域住宅計画賞(作品部門)を受賞しました。

この賞は、地域の住文化への貢献や、その作品に込められた趣旨が具体化され他の作品の模範になり、デザイン的にもとくにすぐれたものに授与されます。

今回、受賞した復興モデル住宅は、紀伊半島大水害で被災された方々の自力再建住宅や復興村営住宅のモデルとして、「村の地域性、十津川産材の活用、省エネ、低価格」をコンセプトに建設しました。

住宅の特徴は、雨の多い村の気候に対応した「スバルノフキオロシ」(P7図1参照)と板張りの外壁、内部は、木のぬくもりを肌で感じられるよう、柱や梁を見せる真壁造りにして、木本来の木目を活かしています。また、通風や日射など自然エネルギーを活用するとともに、建物の断熱性能を向上し、省エネ性能に優れた住宅としています。

今後、平成26年3月までに、谷瀬地区に4戸、猿飼地区に13戸の復興村営住宅を順次建設予定です。

一 復興モデル住宅の概要 一



【平屋建てタイプ】延床面積約60㎡、建設費約1100万円。高齢者の2人暮らしをイメージし、村の伝統的な和室の所作(浅床、書院、位牌置き場、竿縁天井)と勾配天井の居間が続き間で使える。

【二階建てタイプ】延床面積約85㎡、建設費約1500万円。子育て世代をイメージし、どこにいても家族の様子が感じられるよう階段や吹抜けの位置を工夫。将来子ども部屋が足りなくなった場合は、吹抜けに床を設けて増築ができる。

●地域性への配慮

村の民家は、急峻な斜面にはりつくように点在し、石垣や棚田と一体になった美しい集落景観を形成しています。年間降水量が約2000ミリときわめて多い地域性から、雨風から建物を守るために軒を低くし、スバルノフキオロシやウチオロシ(下図)といった独特の建築様式が発達しました。



村民のみなさんと話し合い



村内の大工さん講習会

モデル住宅の建設には、村内の大工さんや村民のみなさんと話し合いを行ったり、村内の伝統的な民家12棟の調査をしたりして、「十津川らしい住まいづくり25の手法」を整理し、モデル住宅に採用しました。

【十津川杉の魅力を活かす】

10 齢級(46〜50年生)を超える杉が豊富にあるため、杉の間伐材からとれる最大寸法4寸×7寸を梁材とする構造計画としています。

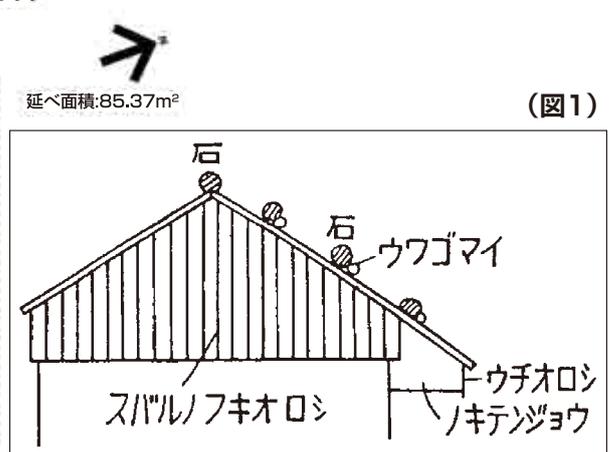
内部は柱・梁を見せる真壁造りで、大黒柱・差鴨居など骨太に材を用いています。外壁、床、天井、木製建具も含め、平屋建てで約21・6㎡、2階建てで約28・6㎡の十津川産材を使用。また、村の豊富な森林資源を活用するため、薪ストーブや十津川杉を使った家具(ダイニングテーブル、ベンチ、座卓)の設置や、十津川杉合板を使用しています。



地域住宅計画賞の賞状



2階建てタイプ平面図





十津川の 住居

第8回「地域住宅計画賞」を受賞した村の「復興モデル住宅」は、スバルノフキオロシやウチオロシといった十津川独特の建築様式、住まいづくりの手法を取り入れています。今回の「村の宝」では、村の住居にスポットを当て、ご紹介します。

掲載内容は、十津川地域中高一貫教育の「ふるさと学」で、当時の上野地中学校生徒が調べたものを参考にしています。

◆村の住居形式は、並列式や一列式が代表的です。一列式では、母屋、うまや、物置、風呂場、便所にいたるまで、横一列に並びます。家は、斜面の一部を削り、石垣や盛り土をして平地をつくり建てます。

母屋は、障子や板戸で仕切られいくつかの部屋に分かれています。

- ◆風雨に弱い土壁は使わず、板壁を主としています。
- ◆「玄関」の特徴は、土間になっていることです。

- ◆台風の進路にあたる地域のため、風雨には特別の配慮が払われています。杉皮で造られた屋根は、軒が低く、ウワゴマイ（横木）で押さえ、石を並べています。
- ◆「カッテの間」は、土間になっていて、流し、水棚などの炊事場があります。カッテの間は「ゆるりの間」に続いています。



- ◆「奥の間」です。特別な客を通す部屋で、客殿とも言います。部屋の広さは、8畳ほどあります。
- ◆奥の間の横が「中の間」です。家族の寝室に当てられています。「での間」とも言いました。

- ◆いろいろのある部屋を「ゆるりの間」と言います。上からジザイを吊るし、鍋をかけて調理しました。ゆるりの間の奥の天井裏に薪などを保存しました。ゆるりの間は、座る場所が決まっています。主人が座る「カミザ」、主婦が座る「シモンザ」、子どもやお客が座る「ウランザ」。老人が座る「キシンザ」がありました。

- ◆一番奥の部屋が「仏間」です。仏壇の反対方向に神棚があります。

十津川 村の宝

教育 だより

(第66号)



へき地教育研究大会で披露された西川第一小学校の獅子神楽

「へき地教育研究大会」、本村で 開催される。

10月17日18日の両日、第28回近畿へき地教育研究大会・第57回奈良県へき地教育研究大会が、延べ約60

0名の参加者を迎えて、本村で開催されました。

17日(木)午後は、役場住民ホールで、村外県外の小

中学校の実践発表と奈教大教職大学院松川利広教授の記念講演。『ごんぎつね』の著者新美南吉が女学校の先生だった時の「赤ペン」から、書く力を育てることの大切さ、その指導の楽しさ怖さを考えました。

18日(金)午前は、十津川一小・西川二小・十津川中・平谷小PTAで、公開授

業・研究発表・研究協議等。へき地の教育や小規模学校の現状・課題、展望について意見交換しました。

午後は村体育文化センターで全体会。西川一小児童と出身中学生による獅子神楽で始まり、『復興、村に生きる』をテーマとしたパネルディスカッション等がありました。

子どもたち・先生方が、「新しい学校づくり」をしながらの学校挙げての大会でした。保護者の方々と来校者へのおもてなしでの教育実践発表でした。十津川地域の学校教育の節目となり、新しい芽を出す大会であったと言われるものにするために、今後の教育実践を大切にしていかなければなりません。

大会両日は素晴らしい秋晴れの十津川でした。

～内吉野ゲートボール大会～

9月24日、昴の郷多目的広場で内吉野ゲートボール大会が行われました。野迫川村から1チーム、村から3チームが参加。毎年行われている大会で、みなさん真剣な表情の中にも楽しんでプレーをされていました。

- 優勝(野迫川チーム)
- 2位(十津川混成チーム)
- 3位(小山手チーム)
- 4位(二村チーム)



十津川村PTA研修会

【日時】 11月24日(日)
受付:午後1時30分～
講演:午後2時～午後3時30分

【場所】 十津川村住民ホール

【講師】 来世楽(ラセラ)

【演題】 津軽三味線女性ユニット
「津軽三味線と唄で楽しむ故郷の心」
～心も体も元気でイキイキ～

どなたでも参加できますのでお気軽にお越しください。託児コーナーもあります。



たすきリレーのスタートを切った
植野 元樹さん(3年生)

十津川高校

「学校の歴史を、そして、紀伊半島大水害からの復興を支えてくれた多くのみなさんに恩返しを」

10月12日から3日間をかけて十津川高校の生徒が、同校の前身・文武館を開いた中沼了三(島根県隠岐出身)氏の墓がある京都市の安楽寺から高校(込之上)まで、150^{キロ}をたすきリレーで走破しました。

たすきリレーは、来年1500年を迎える学校のプレイイベントとして行われ、寮生10人、通学生

17人の有志が参加しました。

たすきに込めた想いや、完走後の心境を、第1走者の植野さんと最終走者の浦上さんに聞きました。

【植野元樹さん(3年生)】

1500年を迎える来年、自分は卒業してしまいますが、何か貢献したいと思いましたが、中沼さんのお墓がある京都の安楽寺の門からスタートし、第1走者のプレッシャーはありましたが、温かい声援もあり、楽しく走

高校創立150年を前に

キロたすきリレー



ることができました。メンバーが一致団結して、走者はみんなのために、みんなは走者のために頑張る姿がありました。

1500年の歴史をもつ学校はなかなかありません。この150年の節目が十津川のピーアールになり、高校の伝統が続いていってほしいです。

【浦上千佳さん(2年生)】

十津川高校が来年1500年の節目を迎えます。在校生として、何か記念のイベントに関わり

たいと思っていました。たすきを受け継いだとき「みんなが頑張ってないだたすきを最後までつなぎ終えたい」と思い走りました。沿道では、子どもからお年寄りの方まで応援していただきました。

たすきリレーのゴールは、150年の節目を迎える高校の歴史の新たなスタート。



ゴールテープを切った
浦上 千佳さん(2年生)

先人を悼み 十津川村戦没者追悼式



9月28日、住民ホールで十津川村戦没者追悼式が行われました。

遺族を代表して、遺族会副会長の坂口さんが追悼の辞を述べた後、遺族のみなさんなど約120人が慰霊碑に献花を行いました。

この追悼式は、3年に一度行われています。

「安全運転で」秋の交通安全を呼びかけ



9月24日、村内で秋の交通安全街頭啓発運動が行われました。

役場前では、早朝から十津川中学校の生徒たちも参加し、通行するドライバーに啓発物品を手渡すなど、安全運転を呼びかけました。

「村を盛り上げよう」第3回尚齒会の集い



9月29日、住民ホールで「災害から2年、みんなで村を盛り上げよう」をテーマに第3回尚齒会の集いが行われ、約110人が参加しました。

集いでは、「天誅組と十津川」と題した松實豊繁さん(大字上野地)の講話、また、老人クラブ会員の演芸などが披露されました。

陸上ジュニア男子やり投げで寒川さんが大会新V



表彰を受ける寒川さん(写真左)

10月18日、名古屋市瑞穂陸上競技場で行われた陸上競技日本ジュニア・ユース選手権で、十津川高校出身の寒川建之介(大阪体育大学1年)さんがジュニア男子やり投げに出場。75.71mの大会新記録を投げ、みごと優勝を果たしました。

復興支援「漫談ライブ・マジックショー」

時 11月20日(水)13時～14時

所 十津川村住民ホール

【漫談ライブ】

殿元日出夫さん(NPO関西演芸推進協議会所属)

【マジックショー】

亜空亜SHINさん(マジシャン)

入場無料です。

ぜひ、ご来場ください。

☎ 総務課 ☎0746(62)0001



全国一斉「女性の人権相談ホットライン」

夫やパートナーからの暴力、職場のセクシュアルハラスメント、ストーカー行為など、女性の人権に関わる問題について、人権擁護委員が下記のとおり電話相談に応じます。相談は無料で秘密は厳守されますので、ご利用ください。

時 11月18日(月)～24日(日)

平日 8:30～19:00 / 土日 10:00～17:00

☎ 全国一斉「女性の人権ホットライン」

☎ 0570(070)810



休日・夜間にHIV(エイズ)検査を行います

12月1日「世界エイズデー」にちなみ、夜間・休日にHIV(エイズ)検査を行います。

時 休日:12月1日(日) 9:00～11:00

夜間:12月2日(月)17:30～19:30

所 内吉野保健所

【その他】

- ① 予約制です。電話で予約してください。
- ② 検査は無料で、匿名で受けられます。
- ③ 検査後、1時間程度で検査結果が判明します。
- ④ 感染リスクのある行動から3か月以上経過後に検査を受けることが必要です。

※このほか、上記日程に限らず、毎月第1・第3月曜日(9:00～11:00)に検査を行っています。

☎ 内吉野保健所 地域生活課

☎ 0747(22)3051



診療所からお知らせ

土曜診療日(受付8:30～11:15)

小原診療所

11月16日(土)	第3週
11月30日(土)	第5週
12月7日(土)	第1週
12月21日(土)	第3週

整形外科診療日

受付(小原8:30～11:15 / 上野地13:30～15:30)

月 日	診療所
11月21日(木)午前	小原診療所
12月5日(木)午前	小原診療所
12月5日(木)午後	上野地診療所
12月19日(木)午前	小原診療所

犯罪被害者給付制度について

「犯罪被害者給付制度」とは、故意の犯罪行為で不慮の死を遂げた犯罪被害者の遺族や、重傷病または障害という重大な被害を受けた犯罪被害者に対して、国が犯罪被害者等給付金を支給する制度です。

犯罪被害者等給付金は、

【遺族給付金】亡くなられた犯罪被害者の第一順位遺族の人

【重傷病給付金】加療1か月以上かつ入院3日以上を要する負傷または疾病(精神疾患は加療1か月以上かつ3日以上労務に服することができない程度の疾病)を負った犯罪被害者本人

【障害給付金】法令に定める程度の障害(障害等級第1級～第14級)が残った犯罪被害者本人に支給されます。

給付金の受付は、五條警察署 十津川警察庁舎で行っています。

☎ 五條警察署 十津川警察庁舎 ☎ 0746(63)0110



住生活総合調査にご協力ください

全国から9万2千世帯(奈良県は1400世帯)を無作為に抽出し、国が住生活総合調査を行います。

調査の対象となった世帯には、11月21日から12月10日までの間で、統計調査員証を持った調査員が訪問し調査票を配布しますので、ご協力をお願いします。

この調査は、住生活基本法に基づく住生活の安定・向上に係る総合的な施策を進めるうえで必要となる基礎資料を得るために行われます。

☎ 建設課 ☎ 0746(62)0905



2013.11 村報とつかわ 12

— 庁 外 —

衛生センター 63-0391 し尿処理場 63-0291
小原診療所 63-0040 上野地診療所 68-0207
歴史民俗資料館 62-0137 体育文化センター 63-0067

観光協会

63-0200 森林館(古ル野) 62-0567
泉湯 62-0090 滝の湯 62-0400
温泉プール 64-0762 高森の郷 64-1800
北部保健センター 68-0017 森林組合 64-0301
十津川警察庁舎 63-0110 五條消防十津川分署 64-1190

— 役場以外 —

道の駅十津川郷 63-0003
庵の湯 64-1100
社会福祉協議会 64-0666
商工会 62-0132

旧平谷小学校の不要備品を購入しませんか？

教育委員会では、廃校となった旧平谷小学校の不要備品を次の内容で販売します。

時 12月8日(日)9時～15時

所 旧平谷小学校(大字平谷)

【販売予定物品】

机、調理器具や食器、理科教材、作業用テーブル、音楽教材など

【販売に当たっての注意】

- ①物品の引き渡しは、代金と引き替えです。
- ②物品の梱包や包装はしません。
- ③購入者は、当日のうちに運搬をお願いします。
- ④物品に関するクレームや返品には応じられませんので、物品の内容を確認したうえで購入してください。

問 学校統合推進室 ☎0746(62)0003



11月11～17日は、税を考える週間です



記帳・簿記など保存制度の対象者が拡大されます

平成26年1月から、個人で事業や不動産貸付などを行うすべての人は、記帳と簿記などの保存が必要になります。所得税及び復興特別所得税の申告の必要がない人も対象となります。

問 吉野税務署 ☎0746(32)3385

無料法律相談を開催します

人権問題や行政の合同相談会を開設します。相談は無料ですので、相談ごとのある人は、ご利用ください。

時 12月5日(木)10:00～12:00

所 役場 第1会議室

問 総務課 ☎0746(62)0001



木造住宅の耐震は大丈夫ですか？

村では、村民を対象に木造住宅の耐震診断を希望する人を募集しています。

【対象建築物】昭和56年の新耐震基準以前に建てられた在来軸組工法の木造住宅のうち、延べ面積が250㎡以下で、地階を除く階数が2以下の建築物。

【費用】無料

【募集戸数】3戸(応募多数は抽選)

【募集締切】11月20日(水)

問 建設課 ☎0746(62)0905

自衛官募集

自衛隊奈良地方協力本部 ☎0747(22)3789

ホームページ <http://www.mod.go.jp/pco/nara>

募集種目	受付期間	試験期日	資格
陸上自衛隊 高等工科学校生徒 (推薦採用試験) 男女共通	平成25年11月1日(金) ～ 12月6日(金)	平成26年1月11日(土)～ 13日(月)の間で いずれか1日	○平成26年4月1日現在で15歳以上17歳未満の人 ○将来自衛官となる強固な意志がある人 ○中学校長などが責任を持って推薦する人 ○生徒会などで顕著な実績のある人
陸上自衛隊 高等工科学校生徒 (一般採用試験) 男女共通	平成25年11月1日(金) ～ 平成26年1月10日(金)	【1次試験】 平成26年1月18日(土) 【2次試験】 平成26年2月1日(土)～ 4日(火)の間でいずれか1日	○平成26年4月1日現在で15歳以上17歳未満の人
予備自衛官補 (一般公募)	平成26年1月上旬～4月上旬 ※細部はお問い合わせください。		○平成26年4月1日現在で18歳以上34歳未満の人 ○自衛隊入隊後、在隊期間が1年未満の人
予備自衛官補 (技能公募)男女共通			○平成26年4月1日現在で18歳以上で国家免許資格などを有する人



第3回定例会

議会だより

平成25年十津川村議会「第3回定例会」が9月10日から12日まで開かれ、平成24年度各会計歳入歳出決算認定及び平成25年度の一般会計補正予算などの各議案について審議されました。

一般質問では、2人の議員が村政全般について質問を行いました。

今回審議された内容は、次のとおりです。

◆報告

●平成24年度十津川観光開発株式会社経営状況の報告について
村が出資している十津川観光開発株式会社は平成24年度経営状況について、議会に報告しました。

平成24年度の一般会計及び特別会計の決算について、監査委員の意見を付けて議会の認定を受けました。

◆補正予算

●十津川村一般会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ5億3,799万1千円を追加し、総額65億4,892万6千円としました。

◆決算認定

●平成24年度十津川村各会計歳入歳出決算認定について

●十津川村国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ100万円を追加し、総額5億9,842万円としました。

●十津川村十津川温泉事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ991万5千円を追加し、総額4,225万8千円としました。

●十津川村湯泉地温泉事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ320万3千円を追加し、総額1,555万3千円としました。

●十津川村湯泉地温泉事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ320万3千円を追加し、総額1,555万3千円としました。

◆条例改正

●十津川村税条例の一部を改正する条例
地方税法改正に伴い、条例の一部を改正しました。

●十津川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
地方税法改正に伴い、条例の一部を改正しました。

◆契約

●工事請負契約の締結について

※契約の目的

小原地区簡易水道区域拡張工事
(1期工事)

※契約の方法

指名競争入札

※契約の金額

8,085万円

※契約の相手方

株式会社田野上組

●電子カルテシステム等一式の購入について

※物品名

富士通電子カルテ

薬袋印刷システム

※数量

上野地診療所

富士通電子カルテ一式

小原診療所

富士通電子カルテ一式

薬袋印刷システム一式

※契約の方法

随意契約

※契約の金額

889万3,500円

※契約の相手方

株式会社 メディセオ 新宮支店

◆人事

●教育委員会委員の任命について

永曾昌弘委員が、9月30日に任期が満了する事に伴い、再度、永曾昌弘氏を任命するため、議会の同意を求めました。

事務の委託の廃止について

奈良県広域消防組合が設立されることに伴い、五條市と十津川村における消防に関する事務の委託を廃止することにについて協議するため、議会の議決を求めました。

◆意見書

●「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める意見書が提出され、採択されました。

●道州制導入に断固反対する意見書

現在、国会に提出されている「道州制への移行のための改革基本法案」などは、ほとんどの町村では事実上の強制合併を余儀なくされ、合併により、住民と行政との距離が遠くなり、住民自治が衰退してしまうおそれがあるため、道州制導入に断固反対する意見書が提出され、採択されました。

◆その他

●奈良県広域消防組合設立に伴う五條市と十津川村における消防に関する事務の委託の廃止について

◆一般質問

▼質問 次年度、世界遺産登録、源泉かけ流し宣言から10周年を向かえるイベントの内容、規模、予算に対する考えについて伺います。

▼答弁 平成16年6月28日に、全国で初めて「源泉かけ流し宣言」を行いました。また、平成16年7月7日に紀伊山地の霊場と参詣道が世界遺産に登録されました。次年度は、どちらも10周年という観光的にも大事な節目の年になります。

源泉かけ流し宣言を行った意義を振り返ると、村の宝である自然の恵みに感謝し、より安全で、より清潔、より新鮮なエネルギーを提供するために、心も体も癒されてほつとする、また訪れたい村を目指す宣言しました。

世界遺産に登録された古道は、昔から人々が祈りを捧げてきた心の道で

す。厳しい自然環境の中、村内を通る2つの古道が残ったのは、深い意味があり、自然と共に山や道を守り、共に生き抜いてきた村民のたくましさがあります。

今後、私たちは受け継がれた古道を大切に守り育て、後世に継承していかなくてはなりません。

源泉かけ流し温泉と世界遺産は村で最も重要な宝物です。10周年に当たり、イベントの開催については、今年の7月以降、観光協会を中心とした各種団体の方々と打合せを行ってまいります。単発的なイベントではなく、継続して多くの村民のみなさんが参加し、また語り部となり、おもてなしの心をもつて受け入れていただけるような取り組みにしたいと思っています。

▼質問 村の活性化策などについて伺います。

▼答弁 村の活性化には、若者の定住が何よりも必要です。そのためには、若者の働く場と住む所がなければなりません。仕事については、林業の6次産業化を進める中で、地域資源を活かした産業への取り組みを進めていきます。



大字林に建設された復興モデル住宅

住居は、復興の取り組みの中で大字林に復興モデル住宅を建設しました。村の木で村の大工さんが建てる住宅が、どれくらいこの値段で建つか、その住宅から見ると、自分で建てようという発憤材料になればと考えています。今議会でも予算の承認をいただきました十津川村定住促進住宅新築補助金は、被災者の自力再建はもとより、Iターン者や若年層の定住人口増加を目的とした補助事業です。村内に新築する住宅で村内の大工さんが建設し、村の木材を一定量以上使用すると、利用量に応じた補助が受けられ、補助の上限は200万円です。また、空き家バンクの創設など、若者が定住できる取り組みを進めていきます。



10月分からの年金額の改定について

平成25年10月分以降として支払われる年金額は、今年4月から9月までの額から、マイナス1%の改定が行われます。

現在の年金額は、平成12年度から平成14年度にかけて、物価が下落したにもかかわらず、年金額を据え置いたため、法律で想定している水準（本来の水準）よりも2.5%高い水準（特例水準）となっています。

そのため、平成24年11月に法律改正が行われ、現役世代（将来の年金受給者）の将来の年金額の確保と、世代間の公正を図るために、平成25年10月分以降として支払われる年金額は、今年4月から9月までの額から、マイナス1%の改定が行われます。

今後の解消のスケジュールは、平成26年4月マイナス1%、平成27年4月マイナス0.5%の改定が予定されています。（物価・賃金が上昇した場合は、引き下げ幅は縮小します）



＜平成25年10月分からの年金額改定に関するQ&A＞

〔Q1〕 一つの年金支払いから適用されますか。

〔A1〕 改定後の年金は、平成25年12月（10月分、11月分）の支払いから適用されます。

〔Q2〕 新しい年金額のお知らせは、いつ送付されますか。

〔A2〕 改定後の年金額は、年金額改定通知書でお知らせします。この年金額改定通知書は、原則として年金振込通知書と一体となったお知らせ（ハガキ）で、12月4日以降に日本年金機構から、年金受給者に送付されます。

社会保険料（国民年金保険料）控除 証明書が発行されます

～年末調整・確定申告まで大切に保管を～

国民年金保険料は、所得税や住民税の申告の際、全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です。

社会保険料控除を受けるためには、納付を証明する書類の添付が義務付けられています。

このため、平成25年1月1日から9月30日までの間に国民年金

保険料を納付された方は、この11月上旬に「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が日本年金機構本部から送付されます。年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書（または領収証書）を添付してください。

また、平成25年10月1日から12月31日までの間に、今年はじめて国民年金保険料を納付された方は、翌年の2月上旬に証明書が送付されます。

なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、ご本人の社

会保険料控除に加えることができますので、ご家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ申告してください。

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」についてのご照会は、控除証明書のハガキに表示されている番号にお問い合わせください。

お問い合わせ

- ▼控除証明書専用ダイヤル
☎0570(070)117
- ▼大和高田年金事務所
☎0745(22)3531
- ▼住民課（国民年金窓口）
☎0746(62)0900



医療機関の適性受診にご協力ください

医療機関を受診するとき、一人ひとりの心構えで、医療費の削減や病院に勤務している医師の負担軽減につながります。ぜひ、病院などの適正受診に努めましょう。

医療費の増加や医師の過重勤務

医療費は、近年増加傾向が続いています。その原因として、急速な高齢化によって、病院にかかる機会の多い高齢者が増えたことがあげられます。さらに医療現場では、人手不足などから、医師が過重勤務に陥っているケースが少なくありません。

私たちの努力で節約できる医療費があります

医療費の高騰や医師の過重勤務は、私たちが適正な受診を心がけることによって、防ぐことが可能です。例えば、かかりつけ医を持つこともそのひとつ。風邪などの軽微な疾患で大病院に行くと、医療費が高くなるばかりではなく、本当に大きな病院でしか対処できない患者さんの治療に支障をきたしてしまうこともあります。

薬のもらいすぎも医療費増加の原因

必要以上に薬をもらいすぎると、医療費増加の原因です。すでに服用している薬と同じような種類の薬をもらうことは、薬代がかさむだけでなく、飲み合わせなどの副作用で体に悪影響をおよぼしてしまうこともあります。

健全な国民健康保険制度を維持していくために

今後も医療費が増え続けると、私たちが納めている保険税が引き上げられてしまうかもしれません。適正受診に努めて出費を抑制することは、国民健康保険制度を健全化して、私たちの暮らしを守ることにつながります。みんなが安心して医療を受けられる制度を維持していくために、ご理解ご協力をお願いします。

11月は、国保税第6期の納期です。

納期限は、12月2日(月) ですので納期限内に忘れずに納めましょう!

お問い合わせ 福祉事務所 ☎0746 (62) 0901

てんいち先生



社会の変化変容の中で、都市と地方、過疎と過密、少子高齢化社会の進行など、さまざまな問題、課題が私たちを取りまいています。

そんな中で、「無縁社会」という言葉が気になる響きとなつて、ジワリジワリと暮らしや社会の中に迫ってきているようです。年々、平均寿命が延び、47年後の2060年には、平均寿命が、男性83歳、女性90歳と推定されています。何よりも、高齢化率が40%に達するだろうと言わ

れています。

「長寿おめでどうぞございます。いつまでもお元気でいてくださいね」「ありがとう。みなさんのお世話になつて今の歳を迎えることができませんでした。私を支えてくれてるみなさんに感謝しています」という会話が、自然にかわし合える社会が何よりです。

しかし、現実はどうでしょうか。情報弱者、交通弱者、買い物弱者、医療弱者、暮らしのいろんな場面で、「〇〇弱者」と表現されることが増えています。生きることに息苦しさや日々感じながらの生活を余儀なくされてはいませんか。

みなさんの年齢はいくつでしょうか。人は生きている限り年を重ねます。どの年代、どの世代であれ、不安なく生きることがとても素晴らしいことです。そんな社会づくりの大きなキーワードこそ、「人権のまちづくり」ではないでしょうか。

てんいち先生とひかりちゃんて学ぶ 人権



「不安なく生きたいね」

「長寿おめでどうぞございます。いつまでもお元気でいてくださいね」「ありがとう。みなさんのお世話になつて今の歳を迎えることができませんでした。私を支えてくれてるみなさんに感謝しています」という会話が、自然にかわし合える社会が何よりです。

しかし、現実はどうでしょうか。情報弱者、交通弱者、買い物弱者、医療弱者、暮らしのいろんな場面で、「〇〇弱者」と表現されることが増えています。生きることに息苦しさや日々感じながらの生活を余儀なくされてはいませんか。

みなさんの年齢はいくつでしょうか。人は生きている限り年を重ねます。どの年代、どの世代であれ、不安なく生きることがとても素晴らしいことです。そんな社会づくりの大きなキーワードこそ、「人権のまちづくり」ではないでしょうか。



生徒自作のキーホルダーを配り交通安全を呼びかけ



全力プレー!体育大会

■学校行事

●体育大会

10月17日、本校グラウンドで秋晴れの空の下、体育大会を行いました。個人の能力、チームワークや戦略を競うさまざまな競技で、学年対抗の熱い闘いが繰り広げられ、最後は3年生の優勝で幕を閉じました!

●たすきリレー完走報告

10月12日から3日間、十津川高校・文武館創立150周年記念事業として、京都市から十津川高校までたすきリレーを行いました。沿道でみなさんの温かい声援をいただき本当にありがとうございました。感謝の気持ち

ちを忘れることなく、十津川高校の歴史を繋いでいきます。

●十津川地域中高一貫合同総合学習発表会(お知らせ)

11月14日(木)、13時30分から15時30分まで、本校体育館で十津川中学校の2・3年生と本校の2年生が「総合的な学習の時間」で研究した内容を発表します。

■生徒会活動

●秋の交通安全活動

9月26日、込之上バス停で、生徒会役員が生徒自作のキーホルダーを配り、交通安全を呼びかけました。

くしに かんぼらう。 十津川高校だより

NexTotsuko ☎0746(64)0241



お誕生日 おめでとう!

人のうごき

(敬称略)

おめでた

東 花乃愛(かのあ)女 10月16日
父:伸彦 母:千佳子 (猿飼)

おくやみ

川口 博 88歳 10月 1日(竹 筒)
玉置 明久 92歳 10月 2日(竹 筒)
菊井 利夫 85歳 10月 6日(谷 瀬)
大谷 政利 40歳 10月11日(小山手)
柳瀬 喜治 81歳 10月11日(川 津)
大玉 守章 81歳 10月12日(平 谷)
串崎 秋男 87歳 10月15日(平 谷)



上の
上垣 友乃ちゃん(谷垣内)
(11月9日生まれ・満3歳)

歌や絵本が大好きな友乃♪
一人で上手に
歌えるようになったね☆
父…幸治 母…小由里

江戸時代の十津川へタイムスリップ

～和州吉野郡十津川荘記をゆく～



タイムスリップの
合言葉は…
うさぎ
ラ・ビビビビット!

村落は、谷に添うも有り、山に寄る所も有り。十津川流れの左右、わけて村里多し。地民、歩行荷を持ちて、世を渡る者は香魚あゆを釣りて、世を過ぐる者有り、木材を伐り筏ひさとして新宮に出し、これを販ひきいで渡世とし、獵師を渡世とし、筏師を渡世とし、トリモチを製し、器地、杓子などのかはを深山に取り、シイタケを作り世を渡る者有り。また専ら柚を世過ぎとする者多し。

うさぎの「パープルおいしさ」です。約170年前の十津川の様子書かれた「和州吉野郡群山記」を基に、今月も江戸時代の十津川にタイムスリップじゃ!

山に添ひて居住の者は、8月深山に入り、林を截り置き枯れさしめ、春に至りて小枝をきり落とし、積みて焼灰となし、その林の截り残る根株の間に鋤を入れて耕しシコクビエを蒔き、その所に小屋を作り居住し、猪鹿の害するを制せむため焼畑のめぐりに、小柴垣など仕廻し、秋、シコクビエ実り、刈り納めて本村に帰る。また、蕎麦、ゴボウ、芋をも作る。その跡、また荒畑となし所を替へるなり。

山に添ひて居住の者は、8月深山に入り、林を截り置き枯れさしめ、春に至りて小枝をきり落とし、積みて焼灰となし、その林の截り残る根株の間に鋤を入れて耕しシコクビエを蒔き、その所に小屋を作り居住し、猪鹿の害するを制せむため焼畑のめぐりに、小柴垣など仕廻し、秋、シコクビエ実り、刈り納めて本村に帰る。また、蕎麦、ゴボウ、芋をも作る。その跡、また荒畑となし所を替へるなり。

善意銀行

(敬称略)

菊井 良作

スポーツの結果

(敬称略)

秋の交通安全

グラウンドゴルフ大会

9月21日/昴の郷多目的広場

優勝: 舛谷 康夫
2位: 花谷 元成
3位: 岡下 武重

- 10月号の答え合わせ
- 【きねずみ】リス
- 【ぎつつい】キリギリス
- 【く ど】かまど
- 【けつとつ】毛布
- 【けんづい】おやつ

- 第1問 こいさがた
- 第2問 さいれ・さいら
- 第3問 ささりかんじょう
- 第4問 じよる
- 第5問 しゃでい

うさぎの「おいしさん」です。今月の出題はこれじゃ♪

村の方言な〜んだ

いくつか答えられるかなあ
ウササササササ (笑)





(提供: 観光振興課)

東京にある「奈良まほろば館」で「お国自慢なら～こんなにある奈良の日本一～」のイベントが行われました。

館内には、幅2メートルほどの大きな「谷瀬のつり橋」のポスターがあり、訪れた来館者に村の魅力を発信しました。

私の集落の絶景

めざせ100枚の

(番外編)

21枚目

あとがき

▶スポーツの秋・文化の秋ということで、村内でも村大運動会や村文化祭が行われました。私もカメラを片手にどちらも参加させていただきました。カメラのシャッターを切る中で、女性の活躍が際立っていました。運動会では、男性有利に見えた女性対男性の綱引きで女性が圧勝。文化祭でも舞台や展示発表、バザーで活躍する比率は男性よりも女性が多いと感じました。我が家でも、育児に家事に「父ちゃん」より「母ちゃん」の活躍が際立っています。改めて、女性のパワーに脱帽の秋となりました。(Y・T)

▶10月から始まったとつかわテレビ。毎月月末の土曜・日曜の午後8時から自治体放送11チャンネルで、放送月の前月のイベントをいくつか選んで放送しています。初めての10月放送分でも「あの人が出てた～」などの話をよく耳にします。見てくれている人がいて嬉しいです。さて11月は観光協会が行なったしめ縄づくりと奉納、十津川大運動会2013を予定しています。「今度は誰がでるのかな」などちょっと気になりますか?気になる人は、11チャンネルをご覧ください。身近によく知っている人がでるかもしれません。(R・M)



●人口 3,760人(-1人)

男性 1,869人(-2人) / 女性 1,891人(+1人)

●世帯数 1,887世帯(-1世帯)

【平成25年11月1日現在 ()は前月比】